

地方創生SDGs金融調査・研究会（第19回）の開催結果について
（概要）

○日時：2023年8月7日（月）10：00－12：00

○場所：ハイブリッド（ビジョンセンター永田町・オンライン）

○出席委員：村上座長、竹ヶ原座長代理、大久保委員、柏井委員、金井委員、橋本委員、師岡委員、山内委員、師岡委員

※オブザーバー：内閣官房、環境省

○議事総括：

1. 地方創生SDGs金融の位置づけ及び現状

- 各出席委員から質問はなし。

2. 令和5年度調査・研究会の方針

- 事務局より、資料に沿って説明。
 - 実施施策の評価及び自律的好循環事例ヒアリングの実施について
 - 「地方創生SDGs金融の基本的考え方」（以下、「基本的考え方」とする。）の改正について
 - 「地方創生SDGs登録・認証等ガイドライン」（以下、「ガイドライン」とする。）第二版の公表について
- 委員から異議はなく、合意された。

3. ガイドライン第二版案

- 事務局よりガイドライン第二版案について説明。
 - 取組による影響を評価するため「地方創生SDGsインパクト評価」方法を追記
 - 既存制度の紹介を追記
- 委員からの意見は次のとおり。

- 地方公共団体や地域金融機関のニーズに応えるには、早期にガイドライン第二版を公表したほうが良い。
- 既存制度については、金融機関の関与内容を追記されたい。
- 読み手にとってのわかりやすさを追求するため、以下の対応をすることが合意された。
 - 第4章表題を事務局案である「「地方創生SDGsインパクト評価」の実践方法」から、「地方創生SDGsの取組方法と評価方法」に改める。
 - 具体的なインパクトの内容は、章の中で説明を行う。

4. 「基本的考え方」の全体像

- 事務局より、資料に沿って説明。
 - 公表から4年以上経過したことから、以下を行った上で、必要に応じ改正してはどうか。
 - 地方創生SDGs金融に係る施策の評価
 - 自律的好循環の優良事例をヒアリングし、成功要因や要素の検証
- 委員からの意見は次のとおり。
 - 自律的好循環の実事例を紹介することよりも、制度の活用方法にフォーカスをし、金融機関との連携方法、あるべき理想像を示すことが望ましいのではないか。
 - 「自律的好循環」の言葉の定義を明確化すべき
- 実施施策のレビュー、自律的好循環の事例ヒアリングを行い、「基本的考え方」の改正を検討することが合意された。

4-①. 地方創生SDGs金融関連施策の進捗状況の検証

- 事務局より資料に沿って説明。
 - 「宣言・登録・認証制度」を通じて一定のアウトカムを出している自治体の取組及び「金融表彰」を受賞した取組を検証する。

- 事例を「基本的考え方」に掲載し、全国の自治体の取組への動機を高める
- 検証結果を「基本的考え方」への加筆を検討するとともに、地方創生 SDGs 金融関連施策の改善事項を検討する。
- 委員から異議はなく、合意された。

4-②. 地方創生 SDGs 金融を通じた自律的好循環の優良事例ヒアリング

- 事務局より、優良事例のカテゴリ及びロングリストを参考に、ヒアリングを実施する旨説明。
- 委員からの意見は次のとおり。
 - ヒアリング先について、資金供給のみならず、非金融面で何を行ったかという観点もあるのではないか。
 - 様々なカテゴリの事例を出し、幅を持って示すことで、全国の地方公共団体が参考にしやすくなるのではないか。

○今後の展開

- 次回第20回の調査・研究会に向けて、本日の合意内容を踏まえつつ、事務局が表明された意見を取りまとめ、検討を継続する。